

資料17：医学教育に関する文献目録＜1986～1989年＞

1986年

- 1) 鎮西恒雄・他：コンピュータの医療への応用，*ケミカルエンジニアリング*，**31**：158-160.
- 2) 稲田 豊：研修医のための心臓麻酔の手引，克誠堂出版，268.
- 3) 日野原重明：医学生の将来の進路決定，*医学教育*，**17**：6-7.
- 4) 加我君孝：アメリカの医学部卒業生の進路決定に及ぼす社会的因子について，*医学教育*，**17**：48-55.
- 5) 道場信孝：教育媒体使い方シリーズⅦ 聴覚機器とくに心臓病診察技術の訓練における Simulator の適用，*医学教育*，**17**：57-61.
- 6) Levvy, G.: 英国一般開業医 (GP) と生涯教育の現況，*日本医師会雑誌*，**95**：487-492.
- 7) 永井友二郎：生涯教育の制度化について，*日本医師会雑誌*，**95**：497-501.
- 8) 阿部正和・他：「生涯教育制度化のガイドライン」のポイントと今後の制度運営，*日本医師会雑誌*，**95**：823-830.
- 9) 三浦新也：勤務医の生涯教育一現状とそれに対する勤務医の意識，*日本医師会雑誌*，**95**：877-878.
- 10) 黒川一郎：北海道医師会による「医師の生涯研修に関する調査結果」の概要，*日本医師会雑誌*，**95**：888-896.
- 11) 西村亮一：医師の生涯教育について考える一尼崎市における生涯教育の試み，*日本医師会雑誌*，**95**：897-902.
- 12) 小林建一：慈恵医大生涯教育センターの活動状況，*日本医師会雑誌*，**95**：903-906.
- 13) 柳本冬彦：浜松市医師会における生涯教育，*日本医師会雑誌*，**95**：907-911.
- 14) 真鍋豊彦：愛媛県医師会学術病院部における生涯教育活動，*日本医師会雑誌*，**95**：913-916.
- 15) 松井啓介：九州医師会医学会における生涯教育に関する調査の概要，調査結果の図表を中心に，*日本医師会雑誌*，**95**：879-887.
- 16) 池田数好：教育と医学の間—教育から，医学から，教育と医学，**34**：4-11.
- 17) 長門谷洋治：本邦海軍軍医教育の基礎を築いた2人の英人医師—アンダーソンとホイラー，*臨床科学*，**22**：239-245.
- 18) 小浜啓次：救急医療の過去・現在・未来—卒前卒後教育，*救急医学*，**10**：23-29.
- 19) 石神重信・他：リハビリテーション医学卒前教育の実態と問題点，最近の実態調査 (1983) から，*総合リハビリテーション*，**14**：89-95.
- 20) 明石 謙：リハビリテーション医学の卒前教育とカリキュラム，*総合リハビリテーション*，**14**：97-102.
- 21) 入江紀一：リハビリテーション医学卒後教育研修システムの実際—東北大学，*総合リハビリテーション*，**14**：103-104.
- 22) 江藤文夫：リハビリテーション医学卒後教育研修システムの実際—東京大学，*総合リハビリテーション*，**14**：105-106.
- 23) 小田典雄・他：リハビリテーション医学卒後教育研修システムの実際—慶応義塾大学，*総合リハビリテーション*，**14**：107-108.
- 24) 米本恭三：リハビリテーション医学卒後教育研修システムの実際—東京慈恵会医科大学，*総合リハビリテーション*，**14**：109-110.
- 25) 伊藤利之・他：リハビリテーション医学卒後教育研修システムの実際—横浜市立大学，*総合リハビリテーション*，**14**：111.
- 26) 土肥信之：リハビリテーション医学卒後教育研修システムの実際—川崎医科大学，*総合リハビリテーション*，**14**：112-113.
- 27) 緒方 甫：リハビリテーション医学卒後教育研修システムの実際—産業医科大学，*総合リハビリテーション*，**14**：114-115.
- 28) Seidler, E.: ドイツにおける医学教育での医学史の現況，*日本医史学雑誌*，**32**：144-148.
- 29) 高田宜美：フォト・コピーの利用分析からみた最近の医学雑誌の状況，*医界新聞*，**1687**：4-5.
- 30) 植村研一：欧米の医学教育における医療学（患者学）の実情とわが国の現状，*Clin Mag*，**13**：33-35.
- 31) 相原 薫：国際医学交流の現状と将来—世界保健機関(WHO)研究研修協力センターの活動よりみて，*新医療*，**13**：29-34.
- 32) 大石 実：アメリカ医学留学の手引（改訂第2版），*医学書院*，216.
- 33) 後藤伸之・他：ノンプログラムOAソフトウェアを用いた投与計画コンサルテーションシステムの構築，*Jpn Soc Hosp Pharm*，**22**：127-130.
- 34) 田口 豊・他：研修医のための超音波診断講座—原発性心筋疾患，*小児内科*，**18**：467-472.
- 35) Levvy, G.: 生涯教育を考える—海外と日本Ⅱ 医師になるまで—英国の場合2，*日本医師会雑誌*，**95**：99-103.
- 36) 中谷比呂樹：医師国家試験改善の経緯，*医学教育*，**17**：75-77.
- 37) 高久史磨：医師国家試験の改善と今後の方向，問題作成プロセスの改善，*医学教育*，**17**：78-80.
- 38) 草川三治：医師国家試験の改善と今後の方向，試験問題のプール制，*医学教育*，**17**：81-82.
- 39) 前川 正：医師国家試験出題基準の改善，*医学教育*，**17**：83-88.
- 40) 堀 原一：医師国家試験に関する研究方向，*医*

- 学教育, **17**: 97-100.
- 41) 紀伊国献三: 医師国家試験の国際的動向, 医学教育, **17**: 101-103.
- 42) 岡本 健: 医学教育, ビデオ学内放送システム, 医学教育, **17**: 126-130.
- 43) 倉岡敏彦・他: 米国における慢性呼吸不全のリハビリテーション, City of Hope 医療センターにおける研修をもとに I その目的と, それを支えるチーム医療, 共済医報, **35**: 151-154.
- 44) 福井次矢・他: アメリカ内科研修医制度に学ぶ, 医界新聞, **1688**: 5-9.
- 45) 松岡 優・他: 研修医のための超音波診断講座, Ebstein 奇形, 感染性心内膜炎, 小児内科, **18**: 285-290.
- 46) 加納六郎: 医学教育における国際協力, 公衆衛生, **50**: 368-372.
- 47) 楢戸健次郎: 家庭医への初期卒後研修, 私の経験から, 家庭医, **2**: 26-29.
- 48) Finestone, A., et al.: アメリカの生涯教育の実態 II 生涯教育の組織化, 実施資格, 方法, 日本医師会雑誌, **95**: 1285-1289.
- 49) 角田昭夫: 研修医・ナースのための新生児外科学, 腸管回転異常症, 小児外科, **18**: 521-527.
- 50) 荒川洋一: 自治医科大学卒業医師の卒後研修, 家庭医, **2**: 21-25.
- 51) 小泉俊三: 天理よろづ相談所病院における総合研修方式の10年, 家庭医, **2**: 30-37.
- 52) 真栄城優夫: プライマリ・ケア重視の臨床教育, 家庭医, **2**: 44-48.
- 53) 磯村孝二: 農村医療のための臨床研修, 家庭医, **2**: 49-53.
- 54) 岩崎 榮: 臨床研修病院の新しい臨床研修のあり方, 総合診療方式における研修目標について, 家庭医, **2**: 54-59.
- 55) 日野原重明: 新しい医学教育と家庭医療学の役割, 家庭医, **2**: 13-20.
- 56) 木戸訓一・他: 救命救急センター10年の歩み, 卒前・卒後教育の問題点, 救急医学, **10**: 1721-1730.
- 57) 新堀通也: 教師と医師—教育における自由と規律を考えるためのヒント, 教育と医学, **35**: 6-14.
- 58) 山本正彦: 日本における結核医学教育の現状, 結核, **61**: 519-522.
- 59) 乗松克政: 結核の医学教育は如何にあるべきか, 療養所病院から, **61**: 522-525.
- 60) 久世文幸: 結核の医学教育は如何にあるべきか, 大学から, 結核, **61**: 525-527.
- 61) 藤原節子: 結核の医学教育は如何にあるべきか, 保健所の立場から, 結核, **61**: 527-531.
- 62) Raimondi, A.J.: 病院医療システムから見た日米の卒後医学教育, 脳神経外科卒後医学教育を中心に, 病院, **45**: 281-288.
- 63) 浜岡建城: 研修医のための超音波診断講座, 左心低形成症候群, 小児内科, **18**: 661-669.
- 64) 千先康二・他: 卒後初期研修における全科ローテーション方式の成果, 防衛医大における総合臨床医のための初任研修に関するアンケート調査より, 医学教育, **17**: 146-150.
- 65) 渡辺洋一郎・他: 医学教育に求められる精神医学の内容の検討, リエゾン精神医学の経験を通して, 医学教育, **17**: 151-156.
- 66) 阿部徳之助・他: 人間関係と学業成績, 医学教育, **17**: 157-162.
- 67) 武市昌士・他: 医師-患者関係からみた臨床実習生の態度構造, 医学教育, **17**: 163-167.
- 68) 山本裕士・他: 佐賀医科大学における“Early exposure”, 医学教育, **17**: 168-174.
- 69) 福沢陽一郎・他: 医学教育における老人問題の効果的教育方法の検討, ユニオンレクチャー形成による試み, 医学教育, **17**: 179-184.
- 70) 山崎茂明: 引用文献からみた生理学の卒後教育用教科書の分析, 医学教育, **17**: 185-189.
- 71) 杉山武敏: 教育媒体使い方シリーズⅨ Written media/プリント等, 医学教育, **17**: 191-195.
- 72) 福島正勝: コンピュータシミュレーションによる不整脈心電図の学習プログラム(2)期外収縮, *Med Tribune*, **19**: 40-41.
- 73) 福島正勝: コンピュータシミュレーションによる不整脈心電図の学習プログラム(3)発作性心房性頻拍, *Med Tribune*, **19**: 38-39.
- 74) Sarrazin, R.: フランスにおける医学教育, *J UOEH Occup Environ Heal*, **8**: 151-158.
- 75) 岡本裕一・他: 東海大学医学部付属病院における臨床研修の実績—臨床研修方式の問題点および今後の課題, 病院管理, **23**: 143-149.
- 76) 三戸 寿: 研修医のための超音波診断講座, 総動脈幹遺残, 先天性冠動脈奇形, 小児内科, **18**: 831-836.
- 77) 山崎俊夫: 研修医・助産婦・ナースのための新生児学, 検査・正常値, 周産期医学, **16**: 757-764.
- 78) 筒井 純: 日本眼科学会専門医制度研修医ガイドラインの試行, 日本眼科紀要, **37**: 520-523.
- 79) 岡村良一: 大学の眼科における教育システムについてアンケート調査について, 日本眼科紀要, **37**: 524-527.
- 80) 弓削経一: 眼科専門医教育, 眼科卒後教育の立場から, 日本眼科紀要, **37**: 536-538.
- 81) 窪田靖夫: 大学院博士課程と眼科専門医教育, 日本眼科紀要, **37**: 539-542.
- 82) 阿部正和・他: これからの医師生涯教育への展望, 人間を診る医学への回帰, 新薬と治療, **36**: 4-17.
- 83) 吉利 和: 医学教育と勤務医の未来, 病院, **45**: 583-585.
- 84) 橋口れい子・他: 研修医のための超音波診断講座, 単心室, 小児内科, **18**: 1147-1152.
- 85) 三島清一: 医学教育と医療, 日本医師会雑誌, **96**: 287-291.
- 86) 土屋 滋・他: 筑波大学チーム医療実習8年間の検討, 日本プライマリ・ケア学会誌, **9**: 82-90.
- 87) Pavlekovic, G.: プライマリ・ヘルス・ケアとユーゴスラビア, 医学教育, **17**: 219-224.

- 88) 吉田 亮：医学教育の改善をめざして，アメリカ4大学医学部を視察して2．医学教育，**17**：233-239.
- 99) 荒木淑郎・他：神経内科学の卒前教育に関する実態調査．医学教育，**17**：246-250.
- 90) 伊藤幸郎・他：医学教育への“Early exposure”の導入，医学生と病者の初めての出会い．医学教育，**17**：251-256.
- 91) 田村 学・他：白内障早期手術教育の試みⅢ．眼科臨床医報，**80**：1194-1196.
- 92) 橋本竜清：診療録管理を教育に導入した過程Ⅱ．メディカルレコード，**11**：12-13.
- 93) 増井弘美・他：パソコンによる手術情報のデータベース化卒後教育システム再評価への利用．メディカルレコード，**11**：18-20.
- 94) 宮垣武司・他：コミュニティに根ざす医学教育の試み，オーストラリア Newcastle 大学医学部でもう一つの体験．医学教育，**17**：240-245.
- 95) 宜保好彦：沖縄県医師会における生涯教育．日本医師会雑誌，**96**：443-447.
- 96) ゴールドマン・L・他：オーストラリアの生涯教育Ⅱ，生涯教育，自宅学習，ニューメディア他．日本医師会雑誌，**96**：448-452.
- 97) 永井友二郎：開業医の生涯教育．Med Way，**3**：27-31.
- 98) 畑尾正彦：勤務医の生涯教育．Med Way，**3**：32-37.
- 99) 大川嗣雄：わが国の医学教育におけるリハ医学の弱さについて．医療，**2**：14-15.
- 100) 諏訪邦夫：呼吸管理と血液ガス学習プログラム．呼吸，**5**：861-866.
- 101) 佐々木明：家庭医となるには，米国の家庭医学レジデント教育課程．病院，**45**：700-703.
- 102) ジャン・フランソワ・マリアニ：フランスの医学研究と教育．日仏医，**18**：57-60.
- 103) 山本保博：実践的救急医療を通しての卒後教育考え方，アメリカにおける経験から．日医新報ジュニア版，**251**：23-26.
- 104) 山崎武夫：北海道医師会における生涯教育制度化への取り組み．北海道医報，**632**：2-6.
- 105) 日本医学教育学会：医学教育白書1986年版（'82〜'86），医学教育別冊．篠原出版，186.
- 106) 厚生省健康政策局医事課：臨床研修病院ガイドブック'87．日本医事新報社，528.
- 107) 中川義宣：現代中国の医療保健政策と中医教育及び中西医结合運動．医道の日，**45**：84-88.
- 108) 三浦於菟：弁証論治の実際，南京中医学院における臨床実習．中医臨床，**7**：296-300.
- 109) Doehring, S.A.: 西ドイツにおける学校教育・医学教育および整形外科専門教育．整形外科，**37**：1671-1673.
- 110) 林 秀生：教育と研究の相互作用．埼玉医科大学雑誌，**13**：99-112.
- 111) 阿部正和：医師の生涯教育．日本保険医学会誌，**84**：30-39.
- 112) 坪倉篤雄：生涯教育組織の活動，医師の卒後教育公開講座．日本医師会雑誌，**96**：1251-1255.
- 113) 広木忠行・他：生涯教育組織の活動，大濠カンファレンス．日本医師会雑誌，**96**：1257-1260.
- 114) 中野政男：生涯教育組織の活動，神奈川県皮膚科医会．日本医師会雑誌，**96**：1261-1264.
- 115) 倉井 亮：生涯教育組織の活動，東京内科医会生涯教育活動について．日本医師会雑誌，**96**：1272-1277.
- 116) 松本昭彦：医師の生涯教育について考える，横浜市医師会と横浜市立大学病院の連携．日本医師会雑誌，**96**：1302-1305.
- 117) 桜井 勇：本邦病理学の現状，とくに卒前・卒後の病理学教育．いずみ，**33**：24-25.
- 118) 藤永雅彦：アメリカにおける麻酔科の卒後教育と現状．Med Way，**3**：196-198.
- 119) 砂原茂一：生涯教育制度への期待，生き生きとした共同学習こそ．Mod Med，**15**：24-25.
- 120) 風間 繁：生涯教育制度への期待，米国では州レベルで「義務付け」．Mod Med，**15**：26-28.
- 121) 土屋健三郎：産業医大の歴史と大学運営の問題点．看教，**27**：355-358.
- 122) 水井友二郎：生涯教育．Med News，**289**：1-8.
- 123) 斎藤栄宏：生涯教育組織の活動，芦原臨床研究会13年のあゆみ．日本医師会雑誌，**96**：1269-1271.
- 124) 山本 保：生涯教育組織の活動，新潟市民病院内科公開検討会．日本医師会雑誌，**96**：1278-1280.
- 125) 土田哲男：医師の生涯教育について考える，名古屋市医師会と名古屋市立東市民病院の連携．日本医師会雑誌，**96**：1306-1308.
- 126) 広田 滋：医師の生涯教育について考える，福山医師会と国立福山病院の連携．日本医師会雑誌，**96**：1309-1312.
- 127) 安藤幸典：研修医のための超音波診断講座．頭部・頭蓋内出血．小児内科，**18**：1291-1296.
- 128) 岡田隆好・他：研修医のための超音波診断講座，肝，胆嚢．小児内科，**18**：1601-1609.
- 129) 本間尚子・他：当教室の法医学実習における統計的観察．新潟医学会雑誌，**100**：458-466.
- 130) 西園昌久：医学教育とメンタルヘルス．日本医師会雑誌，**96**：1509-1512.
- 131) 木原 彊・他：生涯教育を考える；海外と日本XXII 医師になるまで；西ドイツの場合1，大学入学資格試験から医学部入学者選抜テストまで．日本医師会雑誌，**96**：1557-1561.
- 132) 松行真門・他：研修医のための超音波診断講座，消化管，すい，腹水，その他腹腔内病変．小児内科，**18**：1897-1904.
- 133) 村田雄二：アメリカにおける産婦人科開業医の卒後教育と現状について．日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報，**44**：44-53.
- 134) 前沢政治・他：地域保健医療と医学教育．公衆衛生，**50**：736-740.
- 135) 城山英太郎：宮崎県医師会における生涯教育活動．日本医師会雑誌，**96**：1916-1920.
- 136) Glick, I.D., et al.: 精神科レジデントのための精神薬理学モデル・カリキュラム．薬物・精

- 神・行動, **6**: 397-452.
- 137) 篠田達明: 研修医・助産婦・ナースのための新生児学, 股関節脱臼と斜頸, 周産期医学, **16**: 1051-1054.
 - 138) 日野原重明: わが国における Problem Oriented System(POS) の歴史, 医学教育, **17**: 377-379.
 - 139) 植村研一: POS の概念・利点・欠点, 医学教育, **17**: 380-383.
 - 140) 平野 寛: 医学部教育における POMR, 医学教育, **17**: 384-388.
 - 141) 中木高夫・他: POMR による BSL, 医学教育, **17**: 393-399.
 - 142) 日野原重明: POS 回診 Problem Oriented System Round, 医学教育, **17**: 400-403.
 - 143) 橋本信也: 日本における内科卒後研修の POMR の現状—アメリカ Vermont 大学との比較において, 医学教育, **17**: 404-407.
 - 144) 山下文雄・他: POMR によるチーム医療, 医学教育, **17**: 413-417.
 - 145) 林 茂: POMR による看護教育, 医学教育, **17**: 418-421.
 - 146) 静田 裕・他: 医学教育システムの改善策を探る, 新設医科大学教官のアンケート結果と考察, 医学教育, **17**: 431-437.
 - 147) 伴信太郎・他: 臨床研修指定病院における卒後2年間の臨床研修期間中の外来診療教育の現状, アンケート調査報告, 医学教育, **17**: 438-443.
 - 148) 桜井 勇・他: 医学概論, 本学における試行, 医学教育, **17**: 444-448.
 - 149) 鈴木淳一・他: 鼓室形成術 コース 1985-1 週間耳手術 コースについて, 専門医教育としての計画・経過・成果・反省など, 医学教育, **17**: 449-453.
 - 150) 岩崎 榮・他: POS の日本における普及—とくに臨床研修病院におけるアンケート調査の結果から, 医学教育, **17**: 408-412.
 - 151) 二村真秀: 研修医・助産婦・ナースのための新生児学, 皮膚疾患, 周産期医学, **16**: 905-913.
 - 152) 狩野力八郎: 精神療法教育の一過程としての入院治療スーパービジョンについて, 精神分析研究, **30**: 171-173.
 - 153) 香川靖雄: 特別研究員制度の発足と基礎医学教育—生化学教育を中心に, 医界新聞, **1707**: 3.
 - 154) 山田瑞穂・他: 国試 100% 合格の背景を探る, 医界新聞, **1716**: 5-7.
 - 155) 静田 裕: 医学教育システムの改善を探る—新設医科大学教育のアンケート結果から, 医界新聞, **1716**: 2-3.
 - 156) 牧野永城: 医師にとって未来はあるか, 国民の医療のために, 医師育成システムの確立が急務, 新医療, **13**: 22-24.
 - 157) 石田秀実, 中国学の立場からすすめる中国古典医籍学習のための参考書, 中医臨床, **7**: 374-376.
 - 158) Lim, S. D.: 韓国における皮膚科専門医教育, 日本皮膚科学会雑誌, **96**: 1438-1443.
 - 159) Strauss, J. S.: アメリカにおける皮膚科専門医教育制度, 日本皮膚科学会雑誌, **96**: 1427-1429.
 - 160) 笹川 力: 内科専門医制度, 教育病院の立場から, 新潟医学会雑誌, **100**: 125-129.
 - 161) 越智品俊: 沖縄県立中部病院における卒後医学研修—家庭医を目指して, 家庭医, **2**: 413-418.
 - 162) 阿部正和: 医師の生涯教育, 岩手医学雑誌, **38**: 751-759.
 - 163) 沢木修二: 医療に関する医学生の意識調査(下), Med Way, **3**: 163-167.
 - 164) 石田秀実: 中国学の立場からすすめる中国古典医籍学習のための参考書, 中医臨床, **7**: 374-376.
 - 165) 前沢政次: 米国家庭医療学の教育現場をみて, 家庭医, **2**: 216-222.
 - 166) 酒見英太: 米国家庭医療学の指導者達との出会い, 家庭医, **2**: 227-230.
 - 167) 石川雄一: アメリカにおける医学教育—これからの日本における医学教育 Illness and Wellness, 家庭医, **2**: 287-292.
 - 168) 田中 直: 最上医学所について, 山形医師会報, **421**: 22-24.
 - 169) 上田 智・他: 川崎医科大学における POS 教育, 川崎医学会誌, **12**: 320-323.
 - 170) 赤井貞彦: 外科専門医制度—教育病院の立場から, 新潟医学会雑誌, **100**: 133-134.
 - 171) 千代豪昭: 人類遺伝学の卒前教育, 臨床遺伝研究, **8**: 11-16.
 - 172) 水入苑生・他: 研修医のための超音波診断講座, 腎臓・尿路, 小児内科, **18**: 2059-2064.
 - 173) 佐々木明: 米国の家庭医学卒後研修プログラムにおける外科, 病院, **45**: 1051-1055.
 - 174) 王 振義: 中国の医学教育, 医学教育, **17**: 282-287.
 - 175) 守田美代子: 結核の医学教育は如何にあるべきか, 看護の立場から, 結核, **61**: 531-534.
 - 176) 橋戸健次郎: 家庭医の生涯教育, 家庭医, **2**: 161-168.
 - 177) 村田雄二: アメリカにおける産婦人科開業医の卒後教育と現状について, 産婦人科の世界, **38**, 953-961.
 - 178) 路 振富: 中日医学教育の比較, 半年間の見聞から, 日本医事新報, **3270**: 46-49.
 - 179) 小林 隆: 北欧及びその他欧州諸国における皮膚科専門医教育の現状と問題点, 日本皮膚科学会雑誌, **96**: 1429-1433.
 - 180) 平山正実: 医学生と哲学, その授業方法をめぐって, 医哲学医倫理, **4**: 1-15.
 - 181) 横山英明・他: 多肢選択試験における項目別分析指標について, 自治医科大学紀要, **9**: 11-20.
- 1987年**
- 1) Adachi, J.: コーネル・ヘルスサイエンスのコンピュータ化図書館ネットワークの実現, 図書館情報システム (LIS), 医学図書館, **34**: 3-6.
 - 2) 阿部正和: '87年の展望, 日本の医療を考える, 日本の医学教育を考える, クリニカ, **14**: 5-7.
 - 3) 堀 原一: 外科医の育成, 新しい卒前教育のな

- かにおける外科。外科, **49**: 11-15.
- 4) 桜井健司: 外科医の育成, 卒後の外科教育と研修。外科, **49**: 16-20.
- 5) 永田 新・他: 研修医のための超音波診断講座, 胎児発育評価と羊水量測定。小児内科, **19**: 121-125.
- 6) 小野寺伸夫: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 医療制度の立場。医学教育, **18**: 8-10.
- 7) 北井暁子: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, ヘルス・マンパワー育成の立場。医学教育, **18**: 11-13.
- 8) 渡辺 淳: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 実地医家の立場。医学教育, **18**: 14-16.
- 9) 植村研一: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, アメリカ合衆国。医学教育, **18**: 17-18.
- 10) 池上直己: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, イギリス。医学教育, **18**: 19-21.
- 11) 細田瑛一・他: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, スカンジナビア3国と西ドイツ。医学教育, **18**: 22-24.
- 12) 前沢政次: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, ヨーロッパ諸国。医学教育, **18**: 25-27.
- 13) 鈴木淳一: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, ユーゴスラビア。医学教育, **18**: 28-32.
- 14) 梅田珠実: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, オーストラリア Newcastle 大学例からみて。医学教育, **18**: 33-35.
- 15) 寺島 康・他: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, カナダ McMaster 大学での例からみて。医学教育, **18**: 36-38.
- 16) 石橋幸滋: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 自治医科大学。医学教育, **18**: 39-41.
- 17) 平野 寛: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 川崎医科大学。医学教育, **18**: 42-46.
- 18) 織畑秀夫: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 東京女子医科大学。医学教育, **18**: 47-49.
- 19) 橋本信也・他: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 東京慈恵会医科大学。医学教育, **18**: 50-52.
- 20) 高谷 治: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 防衛医科大学校。医学教育, **18**: 57-59.
- 21) 山根洋右: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 島根医科大学。医学教育, **18**: 60-62.
- 22) 須永俊明: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 佐賀医科大学。医学教育, **18**: 63-65.
- 23) 松下和子: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 聖露加看護大学—看護教育の立場から。医学教育, **18**: 66-68.
- 24) 菊地 博: プライマリ (ヘルス) ケアの卒前教育, 日本プライマリ・ケア学会の教育活動。医学教育, **18**: 69-71.
- 25) 日本医学教育学会: 卒前教育における“プライマリ・ケアコース”のカリキュラム試案。医学教育, **18**: 72-75.
- 26) 開原成允: 診療支援システム, 医師生涯教育の伴侶として。医学のあゆみ, **140**: 113-117.
- 27) 沖津貞夫: 宮城県医師会における生涯教育活動。日本医師会雑誌, **97**: 111-116.
- 28) 浮田 実・他: 生涯教育を考える, 海外と日本 XXIV, 西ドイツの医師生涯教育制度。日本医師会雑誌, **97**: 117-121.
- 29) 川真田美和子: 研修医のための講座, 注射法, 実際のやり方を中心に。JOHNS, **3**: 335-339.
- 30) 石田純郎: 臨床医学教育の開始より 350 周年。科医資研, **152**: 5-9.
- 31) 中田輝夫: 精神医学教育の動向。臨床精神医学, **16**: 635-641.
- 32) 阿部顕治・他: 農村におけるプライマリ・ヘルスケアに関する研究, 医学生に対する予防医学教育の実践と課題。日本農村医学会雑誌, **35**: 875-880.
- 33) 小林充尚: 研修医のための超音波診断講座, 胎児の異常, 腹部・外表奇形。小児内科, **19**: 573-578.
- 34) 伊藤幸郎: 医師と医学教育, 全人的な医療, “哲学する”のが21世紀の医師像。新医療, **14**: 58-61.
- 35) 三浦於菟: 南北中医学院における臨床実習。中医臨床, **8**: 44-46.
- 36) 畑 一郎: 大分県医師会における生涯教育活動。日本医師会雑誌, **97**: 477-482.
- 37) 高橋勝三: 生涯教育を考える, 海外と日本 XXV フランスの医療制度。日本医師会雑誌, **97**: 483-486.
- 38) 千葉喜英: 研修医のための超音波診断講座, 胎児の異常, 頭部・脊椎・胸部。小児内科, **19**: 410-418.
- 39) 光斎重治・他: 医学図書館における利用者教育について, 大阪市立大学の場合。医学図書館, **34**: 100-112.
- 40) 久保武士: 教育現場における情報処理教育, 筑波大学における CAI について。東京慈恵会医科大学雑誌, **102**: 20-24.
- 41) 辻 和男: 本学における情報処理教育の現況。東京慈恵会医科大学雑誌, **102**: 25-28.
- 42) 能登彩夫: 秋田県医師会における生涯教育活動。日本医師会雑誌, **97**: 1251-1255.
- 43) 鳥居有人・他: 第2回「医師の生涯教育ワークショップ」報告。医学教育, **18**: 97-106.
- 44) 香川靖雄: 生化学教育国際ワークショップ, 医学生教育を中心に。医学教育, **18**: 107-113.
- 45) 曾我部博文・他: 新入生を対象とした問題解決型教材の開発。医学教育, **18**: 114-118.
- 46) 平山正実: 病棟実習について。医学教育, **18**: 123-129.
- 47) 臼井敏明: 入試選抜における大学側の判断。医学教育, **18**: 131-137.
- 48) 車田松三郎: 病院における研究・教育機能について研修医をめぐる諸問題。医学教育, **18**: 138-148.
- 49) 中川米造: 教育媒体使い方シリーズXIV, ロールプレイ。医学教育, **18**: 149-151.
- 50) 鈴木明子: リハビリテーション専門家教育の目的。教育と医学, **35**: 370-376.

- 51) 中尾喜久：実践医学の展望，医学教育の視点から，日本農村医学会雑誌，**35**：991-996.
- 52) 菅沼達治：医師国家試験と人口動態統計，厚生 の指標，**34**：21.
- 53) 村上省三：AIDS の教育はいかにあるべきか，*Immunohaematology*，**July** (臨増)：98-104.
- 54) 松石久義：日医の生涯教育制度と家庭医問題，日本医師会雑誌，**97**：1563-1567.
- 55) 池見西次郎：行動科学（行動医学）と態度変容，医学教育，**18**：178-181.
- 56) 山下文雄：小児ヘルス・ケアと発達-行動小児科学，役割と教育，医学教育，**18**：182-186.
- 57) 江口篤寿：健康教育と行動科学，医学教育，**18**：187-191.
- 58) 平山正実：ターミナル・ケアにおける態度変容，医学教育，**18**：192-196.
- 59) 永田勝太郎・他：態度教育と治療的自我の形成，医学教育，**18**：197-203.
- 60) 石津 宏：行動科学における態度変容の機転，医学教育，**18**：204-210.
- 61) 中村千賀子：医療者の態度学習における評価，医学教育，**18**：211-217.
- 62) 伊藤幸郎：ヨーロッパの医学教育の中での態度学習の試み，とくに学生バリエーション法への関心と普及について，医学教育，**18**：226-229.
- 63) 今中雄一：アメリカにおける医療行動科学の学習体験記-態度学習と行動科学，医学教育，**18**：230-232.
- 64) 上田 智・他：教育媒体使い方シリーズ XV，教室・実習室のレイアウト，医学教育，**18**：234-236.
- 65) 長谷川昭衛：生涯教育と医師会病院，日本医師会雑誌，**97**：1795-1797.
- 66) 石田純郎・他：西洋医学教育システム受容の歴史，医たん，**72**：15-22.
- 67) 台湾の医学真菌学における教育，真菌と真菌症，**28**：32-38.
- 68) 牛場大蔵：医療と倫理Ⅱ，医学教育の立場から，からだの科学，**135**：92-96.
- 69) 前沢政次：プライマリ・ケア医療の未来，大学総合臨床科の立場から，自治医科大学における地域家庭医療学の実践と教育，日本プライマリ・ケア学会誌，**10**：77-81.
- 70) 伊藤幸郎：総合人間学としての医学概論，そのプライマリ・ケア教育上の意義，日本プライマリ・ケア学会誌，**10**：82-84.
- 71) 相沢 昭：生涯研修に対する意識調査，東京小児科医会報，**6**：34-38.
- 72) 吉田 亮：医学教育の改善，公衆衛生，**51**：436-441.
- 73) 酒井シヅ：医学教育の流れ，公衆衛生，**51**：442-447.
- 74) 青山英康：医学教育における衛生・公衆衛生学の課題，公衆衛生，**51**：448-452.
- 75) 村瀬敏郎：日本医師会の生涯教育制度と公衆衛生，公衆衛生，**51**：461-466.
- 76) 岩淵 勉：プライマリ・ケアと生涯教育，公衆衛生，**51**：467-471.
- 77) 山本千秋：医療職の教育体系の推移，日本放射線技師会雑誌，**34**：60-69.
- 78) 中条俊夫：小児の外傷，小児外科卒後教育の中での外傷学の現況，小児外科，**19**：561-563.
- 79) 深井小久子・他：視能訓練士卒後研修の試行，日本弱視斜視学会雑誌，**14**：76-79.
- 80) 華表宏有・他：学生による授業評価とその活用，医学教育，**18**：251-258.
- 81) 赤井契一郎・他：一新設私立大学医学部卒業生の動向調査，医学教育，**18**：259-264.
- 82) 宮本恒彦・他：試験における合格判定基準設定についての問題点，MPL 法と修正 Ebel 法の使用経験からみた比較を中心にして，医学教育，**18**：269-274.
- 83) 武市昌士：卒前精神科実習における学外施設の利用とその効果，医学教育，**18**：275-281.
- 84) 佐藤 武・他：他科医の精神科的援助に関する意識調査，医学教育，**18**：282-286.
- 85) 千代孝夫・他：大災害を想定した救急模擬訓練，救急週間における医学生教育も含めて，医学教育，**18**：287-290.
- 86) 木村恒人・他：地域医師会診療所における学生実習，医学教育，**18**：291-295.
- 87) 岡安大仁：医学教育における死の教育，保健の科学，**29**：506-509.
- 88) 清水勝嘉：陸軍軍医学校における教育過程の変遷について，防衛衛生，**34**：239-246.
- 89) 松石久義：生涯教育制度と家庭医問題，愛媛医師会報，**595**：27-37.
- 90) 石川雄一：21世紀の医学教育，ハーバード大学の New Pathway Program，医界新聞，**1724**：2-3.
- 91) 石川清博：医学教育史，開学百拾年，私立医学校，済生学会略史（第一部），埼玉医師会誌，**443**：24-28.
- 92) 深井小久子・他：視能訓練士卒後研修の試行，眼科臨床医報，**81**：1160-1163.
- 93) 酒井シヅ・他：医学教育の近代史，小児内科，**19**：1195-1201.
- 94) 萱場一則：自治医科大学における地域指向型の家庭医育成のための教育，家庭医，**3**：196-201.
- 95) 白浜雅司：佐賀医科大学救急部研修の現状，家庭医，**3**：202-208.
- 96) 鶴田貴志夫：2年間へき地勤務した後の自治医科大学でのローテート研修の経験，家庭医，**3**：209-216.
- 97) 相原 薫：国際化と医学教育，医学研究の将来-すべての人々に健康を，新医療，**14**：104-109.
- 98) 高谷 治：防衛医科大学校における総合臨床教育，防衛衛生，**34**：315-320.
- 99) 平野 寛：卒後研修目標案について，医療研究レポート，**7**：503-510.
- 100) 岡田正彦・他：臨床検査医学教育システムの検討，メディカル・パソコン，**2**：731-736.
- 101) 三好克彦：アメリカにおける衛星を使った医学

- 教育の現況, **1**: 470-475.
- 102) 黒川一郎・他：医師生涯教育のための北海道医師会における自己申告の結果について, 北海道医報, **657**: 15-17.
 - 103) 黒川一郎：生涯教育制度の発展を考える, 北海道医報, **659**: 2-4.
 - 104) 橋本信也：医学教育と組織開発, 日医新報ジュニア版, **264**: 7-10.
 - 105) 石川清博：医学教育史, 開学百拾年, 私立医学学校, 済生学会略史(第二部と名簿), 埼玉医師会誌, **444**: 17-24.
 - 106) 山中竜他・他：研修医のための脳神経外科, 脳卒中の初期診療, 山形県立病院医学雑誌, **21**: 139-142.
 - 107) 山下 徹・他：関連教育病院における医学部学生の臨床実習資料, 実習評価について, 山形県立病院医学雑誌, **21**: 143-149.
 - 108) 大塚敏文：救急医学教育の重要性, 公衆衛生, **51**: 763-768.
 - 109) 上山山謙四郎：白内障手術システム, KPE: 教育病院の立場から, 眼科臨床医報, **81**: 2291-2293.
 - 110) 桜井靖久：救命訓練用ロボット, 総合臨床, **36**: 2300-2303.
 - 111) 岩谷 力・他：リハ専門医への教育カリキュラム, 脳性麻痺の療育, 整形外科の立場から, 総合リハビリテーション, **15**: 983-986.
 - 112) 今村義典・他：リハ専門医への教育カリキュラム, 脊髄損傷のリハビリテーション, 総合リハビリテーション, **15**: 987-989.
 - 113) 土肥信之：リハ専門医への教育カリキュラム, 慢性関節リウマチ(RA)を含む骨関節疾患のリハビリテーション, 総合リハビリテーション, **15**: 991-995.
 - 114) 小池純子・他：リハ専門医への教育カリキュラム, 切断と義肢のカリキュラム, 総合リハビリテーション, **15**: 997-1000.
 - 115) 木村彰男・他：リハ専門医への教育カリキュラム, 脳卒中のリハビリテーション, 総合リハビリテーション, **15**: 1001-1004.
 - 116) 大川弥生：リハ専門医への教育カリキュラム, 筋・神経疾患のリハビリテーション, 総合リハビリテーション, **15**: 1005-1009.
 - 117) 衛藤俊邦：大学精神科卒後研修の限界と展望, 東化大学精神科15年の歩み, 精神神経学雑誌, **89**: 851-857.
 - 118) 山口成良・他：日本の大学病院における精神医学卒後教育について, アンケート調査の結果から, 精神神経学雑誌, **89**: 857-861.
 - 119) 中川 実：公立単科精神病院における研修の意義, 名大方式卒後研修経験の立場から, 精神神経学雑誌, **89**: 862-866.
 - 120) 長坂五朗：精神医学の卒後研修と生涯教育, 精神神経科診療所から望むもの, 精神神経学雑誌, **89**: 869-874.
 - 121) 西園昌久：精神医学の卒後研修と生涯教育, 国際的立場, 精神神経学雑誌, **89**: 874-881.
 - 122) 北村俊則・他：英国の精神科専門医と卒後研修, 精神神経学雑誌, **89**: 882-884.
 - 123) 園田恭一：医療人類学で医学教育を活性化, 異化と相対比で医療に新たな視点, 新医療, **14**: 25.
 - 124) 多賀須幸男：内視鏡研修のあり方, *Gastroenterol Endosc*, **29**(臨増): 2907-2910.
 - 125) 小黒八七郎：医師研修方法とパラメディカル教育方法, 特に認定医制度と診療科目の表示について, *Gastroenterol Endosc*, **29**(臨増): 3006-3013.
 - 126) 池田正人：海外情報, 産業疫学教育の現状, 産業医学ジャーナル, **10**: 60-63.
 - 127) 橋本信也：医学教育と組織開発, 医学教育, **18**: 453-455.
 - 128) 古川哲二：医育機関における組織開発, 卒前医学教育の開発, 医学教育, **18**: 456-459.
 - 129) 阿南功一：医育機関における組織開発, 卒前医学教育の開発, 医学教育, **18**: 460-463.
 - 130) 前沢政次：地域指向型プライマリ・ケア教育の開発, 医学教育, **18**: 464-466.
 - 131) 今中孝信・他：総合診療方式による卒後臨床研修の基盤となる総合病棟の運営について, 医学教育, **18**: 467-470.
 - 132) 真栄城優夫：沖縄県立中部病院における卒後臨床研修, その20年間, 医学教育, **18**: 471-473.
 - 133) 林 茂：チーム医療における組織開発, 管理者の立場から, 医学教育, **18**: 474-476.
 - 134) 若月俊一：病院における組織開発と医学教育, 医学教育, **18**: 477-479.
 - 135) 岩淵 勉：病院における組織開発の試み, とくに卒後教育・生涯教育の効率化に関して, 医学教育, **18**: 480-484.
 - 136) 吉川 暉：病院における組織開発と医学教育, わが国における先導的試行, 医学教育, **18**: 485-487.
 - 137) 上山英明・他：心肺蘇生法の教育・普及に関するアンケート調査報告, 麻酔, **36**: 1836-1840.
 - 138) 酒井シヅ：逸話史(3), 日本における近代医学教育の始まり, *BIO medica*, **2**: 1049-1053.
 - 139) 中村好一・他：自治医大カリキュラムによる保健所実習の現状と今後の方向づけ, 実習学生に対する調査より, 自治医科大学紀要, **10**: 223-229.
 - 140) 西岡正行：医学図書館の現状と展望, 未来医, **3**: 76-77.
- 1988年**
- 1) 大内晶代・他：卒後教育としての白内障手術, あたらしい眼科, **5**: 325-327.
 - 2) 平川顕名：情報化社会の到来と医学教育の危機, 医療情報学, **8**: 9-13.
 - 3) 嶋崎日出基：生涯教育と病診連携, 釧路医師会病院と開業医の連携, 北海道医学雑誌, **63**: 157-163.
 - 4) Yi, C.Z.: 中国における医学教育の現状とその発展の方向, 東京医科大学雑誌, **46**: 3-8.
 - 5) 登内 真：医療人の教育, 教育委員の立場か

- ら. 日本病院会雑誌, **35**: 71-76.
- 6) 畑尾正彦・他: 医師国家試験の事後評価. 医学教育, **19**: 5-10.
- 7) 石井哲夫・他: 同一内容による単純真偽と多肢選択形式の比較. 医学教育, **19**: 14-17.
- 8) 山田瑞穂: 新しい授業の試みとしての医学概論. 医学教育, **19**: 19-22.
- 9) 森 忠三・他: 卒前における技能教育, 心音シミュレーターによる5年間の経験. 医学教育, **19**: 23-28.
- 10) 鈴木庄亮・他: 医学部入学者の, 高校・医進・専門・国家試験における成績間の相互関連, とくに非順調進級者の予測可能性について. 医学教育, **19**: 33-40.
- 11) 折笠秀樹: 日本の医学統計学教育への期待. 医学教育, **19**: 41-46.
- 12) 香川靖雄: 米国における辺地勤務医師養成制度. 医学教育, **19**: 48-51.
- 13) 長崩敬彦: 医学教育における全人的アプローチの必要性, 自治医科大学卒業生の立場から. 医学教育, **19**: 52-55.
- 14) 桜井恒太郎・他: 医学教育におけるコンピュータの利用. 医学教育, **19**: 56-59.
- 15) Jakšić, Ž.・他: プライマリ・ケアのための生涯教育. 医学教育, **19**: 11-13.
- 16) 白倉克之・他: 21世紀に向けての心身医学の展望, 教育について, 東海大学医学部・付属病院での経験について. 心身医学, **28**: 35-42.
- 17) 黒沢 尚: 救命救急センターにおける心身医学の教育. 心身医学, **28**: 54-59.
- 18) 末松弘行: 欧米の心身医学教育から学ぶべきこと. 心身医学, **28**: 60-64.
- 19) 長門 宏・他: 地域医療における心身医学の教育, 心身症のケアと地域医療システム (グループワーク)の心身医学の教育的意義と役割. 心身医学, **28**: 43-53.
- 20) 山下 徹: 医学教育としての医師の態度教育. 山形県立病院医学雑誌, **22**: 149-153.
- 21) Saito, T., et al.: その形式に内在する多選択質問の性格. *Kawasaki Med. J.*, **14**: 127-132.
- 22) 西園昌久: これからの精神科医の役割と教育訓練・資格認定, 精神科専門医と精神保健指定医. 精神神経学雑誌, **96**: 1006-1014.
- 23) 伴信太郎・他: ロータイト研修の意義について, ロータイト研修終了者による評価をふまえて. 日本医事新報, **3326**: 43-47.
- 24) 杜 治政: 中国における医学哲学・医学倫理学の教育・研究の現状. 医哲学医倫理, **4**: 90-104.
- 25) 別所遊子・他: 大学における放射線取扱者に対する教育・訓練の進め方について, 放射線取扱者を対象としたアンケート調査の結果に基づいて. *Isot News*, **408**: 18-23.
- 26) 野添篤毅: 1990年代の医療情報の動向とあり方5, 新しい図書館と医師生涯教育のための情報システム. 医学のあゆみ, **146**: 14-16.
- 27) 長谷川敏彦: 1990年代の医療情報の動向とあり方10, 医療情報と医学教育, 医学判断学を懸橋として. 医学のあゆみ, **146**: 32-34.
- 28) 棚橋汀路: 研修医のための講座, 嚆下障害. *JOHNS*, **4**: 507-513.
- 29) 渡辺博文・他: 言語治療における教育と医療・福祉の連携に関する一考察, 教育機関及び医療・福祉機関の言語治療担当者の意識調査から. 心身障害学研究, **11**: 29-40.
- 30) 加辺純雄・他: 江田島地区病院における医官の教育・研修について, 特にプライマリ・ケア教育について. 防衛衛生, **35**: 5-11.
- 31) 鷺田孝保: 作業療法教育の現状と展望. 理学療法と作業療法, **22**: 222-228.
- 32) 牛場大蔵: 医学教育の現状と展望. 理学療法と作業療法, **22**: 229-232.
- 33) 筒井 純: 卒後教育における眼科学. 眼科, **30**: 497-500.
- 34) 岡村良一: 眼科卒後教育, 研修医教育. 眼科, **30**: 501-506.
- 35) 湖崎 弘: 生涯教育, 研修医終了後. 眼科, **30**: 507-512.
- 36) 湖崎 克: 眼科 co-メディカルの教育. 眼科, **30**: 513-520.
- 37) 明石 謙: リハビリテーション医学教育の動向. リハビリテーション医学, **25**: 122-127.
- 38) 野崎貞彦: 地域医療計画と医学教育. 公衆衛生, **52**: 244-247.
- 39) 阿部正和・他: 医師の生涯教育. *Medic*, **23**: 1-8.
- 40) 橋本信也: 医師国家試験再考, プライマリ・ケア重視の方向へ, 現状では全問が多肢選択方式. *Mod Med*, **17**: 38-42.
- 41) 里村洋一: 医学データの蓄積 (データベース) と利用の実例. 医学教育, **19**: 103-106.
- 42) 山本啓一・他: アメリカ, 西ドイツにおける医事法教育について. 医学教育, **19**: 201-205.
- 43) 今泉忠淳: 東京都立府中病院における臨床研修経験. 医学教育, **19**: 206-210.
- 44) Moulin, D.D.: オランダ領東インドの医学教育. 医学史研究, **61**: 22-30.
- 45) 稲垣義明: 学会専門医制度の活用法. *Med Way*, **5**: 32-35.
- 46) 依田忠雄・他: 勤務医の生涯教育, オープン病院での対応. *Med Way*, **5**: 36-39.
- 47) 稲田英一: 勤務医の生涯教育, 学会を上手に利用する方法. *Med Way*, **5**: 40-43.
- 48) 福島雅典: 勤務医の生涯教育, 医学雑誌をどう読むか. *Med Way*, **5**: 44-46.
- 49) 三島清一・他: 勤務医の生涯教育. *Med Way*, **5**: 20-30.
- 50) 星野一正: 日本における医学教育とバイオエシックス. *メディカル・ヒューマニティ*, **3**: 40-46.
- 51) 厚生省健康政策局医事課: 臨床研修病院ガイドブック'89. 日本医事新報社, 600.
- 52) 宗像恒次: アメリカの医学校の行動科学教育の現状. 医学教育, **19**: 179-184.

- 53) 矢野栄二・他：研修方式別にみた医療技術習得状況の評価，基本的な診療の知識・技術とプライマリ・ケア等の技術について，医学教育，**19**：186-195.
- 54) 山根洋右・他：フィリピンと日本における Comprehensive community health program と予防医学教育，医学教育，**19**：211-217.
- 55) 阿部正和：医師の生涯教育はどうあるべきか，医療，**42**：471-479.
- 56) 湊小太郎・他：医学・医療情報システムの今後と医学教育のあり方，医療情報学とはシステムの科学である，新医療，**15**：48-51.
- 57) 杉山善朗・他：医学生がみた医師の姿・患者の姿，プライマリ・ケア，**11**：14-20.
- 58) 西 博人：卒後研修とその問題点，保団連，**282**：20-23.
- 59) 秋葉 知：寒河江市・西村山郡医師会における生涯教育制度化への参加状況について，アンケート調査結果を中心に，山形医師会報，**443**：30-39.
- 60) 佐々木正五：医師教育に求められるものは何か，排他でなく中へとり込む“協存”の医学に挑戦する，新医療，**15**：32-35.
- 61) 小谷 泰・他：千里丘・山田臨床談話会の生涯教育について，プライマリ・ケア，**11**：67-75.
- 62) 山下貢司：体験学習・視聴覚自己教育法の提言，生涯教育を考える，Med Way，**5**：162-165.
- 63) 柳 修平・他：禁煙教育に対する医学生の意識調査，学校保健研究，**30**：340-344.
- 64) 羽田春冠：医学教育と日本医師会，徳崎医師会報，**206**：13-17.
- 65) 松村豪一：臨床医学専門教育との関連性を重視した基礎医学一般教育，発生学における新しい教育方法の試み，医学教育，**19**：235-242.
- 66) 柿本泰男：今日の医学生の特性と医学教育，これからの医学生に望む，医学教育，**19**：251-256.
- 67) 杉浦芳章・他：外科臨床実習における動物実習の意義，医学教育，**19**：258-262.
- 68) 千代孝夫・他：わが国における救急医学教育の現状と問題点，医学教育，**19**：267-271.
- 69) 広津卓夫・他：卒前医学教育への Written simulation の導入，Sequential management CPC の試み，医学教育，**19**：272-275.
- 70) 長沢達雄：Harvard 大学医学部での臨床実習，医学教育，**19**：276-280.
- 71) 依田紀彦・他：McMaster 大学での臨床実習，医学教育，**19**：281-284.
- 72) 橋本信也・他：卒後臨床研修の実情とそのあり方，大学病院における臨床研修を考える，医学教育，**19**：285-288.
- 73) 上田 智：医療現場における POS 教育，メディカルレコード，**14**：10-18.
- 74) 徳臣晴比古：産業医教育における労災病院の役割，日本災害医学会会誌，**36**：423-427.
- 75) 瀬尾おさむ：日本医師会における産業医研修，日本災害医学会会誌，**36**：435-439.
- 76) 伊藤澄信：ニューヨーク家庭医学研修レポート，各病院で患者層，疾患に著しい差，ブルックリン在郷軍人病院内科病棟などで，医界新聞，**1820**：3.
- 77) 長嶺敬彦：生涯教育シリーズ(No.18)，急性出血性腸炎と医師・医師関係，地域医学，**2**：75-78.
- 78) 越島得三郎：放射線についての研修，放射線科学，**32**：33-38.
- 79) Sugiura, Y., et al.：イヌを用いた学生外科実習，防衛医科大学校における9年間の経験，防衛医科大学校雑誌，**13**：151-154.
- 80) 狩野力八郎：東海大学精神科学教室における卒後研修教育，卒後研修における精神療法教育の位置づけと問題点について，精神分析研究，**32**：195-203.
- 81) 西園昌久：福岡大学における卒後教育・研修，精神分析研究，**32**：204-209.
- 82) 成田善弘：名古屋大学精神医学教室ならびにその関連での精神療法の研修，精神分析研究，**32**：210-212.
- 83) 小此木啓吾：慶大医学部精神神経科教室の卒後教育における精神療法研修，精神分析研究，**32**：213-220.
- 84) 小倉 清：関東中央病院における教育・研修，精神分析研究，**32**：221-223.
- 85) 窪田靖夫：医学部および薬学部における色覚異常者に対する入学制限と学習における問題点，日本の眼科，**59**：975-968.
- 86) 西村良二・他：精神科卒後教育，とくに初期教育におけるコンサルテーション制度の現状とその問題点について，福岡大学医学紀要，**15**：367-371.
- 87) 品川信良：「良医」の養成と「医の倫理」教育，果してそれは可能か(その2)，いずみ，**35**：2-3.
- 88) 品川信良：「良医」の養成と「医の倫理」教育，果してそれは可能か(その3)，いずみ，**35**：2-3.
- 89) 五味邦英・他：医学部の学生教育，Lab Clin Pract，**6**：48-54.
- 90) 尾形 稔・他：医学部における学生教育の将来像，Lab Clin Pract，**6**：53-56.
- 91) 阿部正和：開業の実態を知る教育を，医療'88，**4**：6-9.
- 92) 山岡和枝・他：教育病院における在院日数の分析，病院管理，**25**：257-265.
- 93) 笹井康典・他：大阪府における保健所医師の研修体制，公衆衛生，**52**：704-708.
- 94) 今中孝信・他：研修医のための実用的 POS 型診療録，看教，**29**：827-829.
- 95) 橋本信也：卒後臨床研修の現状とその問題点，大学病院の場合，医学教育，**19**：395-398.
- 96) 今中孝信：卒後臨床研修の現状とその問題点，臨床研修病院の場合，医学教育，**19**：399-404.
- 97) 岩崎 榮：臨床研修病院の指定基準見直しの必要性，医学教育，**19**：405-409.

- 98) 林 茂：なぜ卒後臨床研修を研修病院で受けないのか。医学教育，**19**：412-415.
 - 99) 山根洋右・他：予防医学教育における community health approach の開発。医学教育，**19**：434-441.
 - 100) 高橋三郎：精神医学の卒後研修の問題点，現場教官の経験。精神神経学雑誌，**90**：1061-1065.
 - 101) 中川米造：転機にたつ医学教育。精神神経学雑誌，**90**：1061-1065.
 - 102) 狩野力八郎・他：精神科卒後研修の体系化・組織化に関する諸問題。精神神経学雑誌，**90**：1041-1047.
 - 103) 山内俊雄・他：大学における精神科卒後研修の可能性と問題点について，国立ならびに私立大学の経験から。精神神経学雑誌，**90**：1034-1040.
 - 104) 藤崎和彦：問題解決能力の育成，アメリカの医学教育改革。保団連，**293**：30-33.
 - 105) 野村 拓：医学教育の現状と改革への視点，第一線医療担当者から提言することの意味。保団連，**293**：6-10.
 - 106) 高橋浄司：中間報告と医学教育。保団連，**293**：11-15.
 - 107) 中沢幸久：国民の求める医師・医学者をめざして。保団連，**293**：23-29.
 - 108) 小谷 泰・他：千里丘・山田臨床談話会の生涯教育について。日本プライマリ・ケア学会誌，**11**：67-75.
 - 109) 仲田和正・他：「外科」における整形外科疾患および医学部教育の問題点。整形外科，**39**：1827-1829.
 - 110) 黒沢 尚：救命救急センターにおける精神医学の卒後教育。精神神経学雑誌，**90**：1055-1061.
 - 111) 日下部明：英国の医師教育。山形医師会報，**448**：61-64.
 - 112) 安藤 裕：医学をとりまく新しい学問領域 (METAMEDICA)，医学・医療情報教育のカリキュラムにかかわる問題，現状と問題点。医療とコンピュータ，**1**：97-99.
 - 113) 阿部正和：医学教育のあり方をめぐって。メディカル・ヒューマニティ，**3**：34-41.
 - 114) 阿部正和：医師の生涯教育について，認定医制度も含めて。愛媛医師会報，**619**：43-52.
 - 115) 伊藤幸郎：医の倫理教育，医学教育の現場から。メディカル・ヒューマニティ，**3**：28-33.
 - 116) 高森行宏：現在の医学教育についての感想と将来への提言。医と医療，**259**：24-25.
 - 117) 安部幸一：現在の医学教育についての感想と将来への提言。医と医療，**259**：23-24.
 - 118) 増田和江：現在の医学教育についての感想と将来への提言。医と医療，**259**：23-24.
- 1989年**
- 1) 芦沢直文：研修医のための ICU の実例 48。克誠堂出版，230.
 - 2) 医の統合を語る会：医の統合シリーズ，医の統合(Ⅲ)，医の教育(1)，一般教養課。日本医事新報社，240.
 - 3) 今中孝信：レジデント初期研修マニュアル。医学書院，256.
 - 4) 山下文雄：21世紀のこどもの健康，小児医学の未来，小児医学の教育，医学部における教育。小児科診療，**52**：73-84.
 - 5) 中村清吾：通信衛生を利用した医学教育について。メディカル・パソコン，**4**：142-144.
 - 6) 桜井健司・他：Audio-visual System を用いた卒前卒後教育。東京慈恵会医科大学雑誌，**104**：319-347.
 - 7) 大貫 稔：保健医療活動と地域医師会の生涯教育。公衆衛生，**53**：156-159.
 - 8) 星 旦二・他：公衆衛生医の生涯学習。公衆衛生，**53**：173-176.
 - 9) 川島吉良：産婦人科領域最近の動向，教育問題における最近の動向。産婦人科の実際，**38**：17-22.
 - 10) 堀 原一：第53回日本循環器学会ファイアサイドシンポジウム I，循環器学の卒前・卒後教育演題 1，筑波大学における卒前医学教育。Ther Res，**19**：2205-2212.
 - 11) 稲垣義明：第53回日本循環器学会ファイアサイドシンポジウム I，循環器学の卒前・卒後教育演題 2，卒後教育とくに，日本循環器学会専門医制度を中心に。Ther Res，**10**：2213-2218.
 - 12) 平盛勝彦：第53回日本循環器学会ファイアサイドシンポジウム I，循環器学の卒前・卒後教育演題 3，循環器病専門病院における卒後研修の実態と問題点。Ther Res，**10**：2219-2224.
 - 13) 日野原知明：第53回日本循環器学会ファイアサイドシンポジウム I，循環器学の卒前・卒後教育演題 4，アメリカにおける心臓専門医トレーニング。Ther Res，**10**：2225-2229.
 - 14) 大林完二：第53回日本循環器学会ファイアサイドシンポジウム I，循環器学の卒前・卒後教育演題 5，日本医師会の生涯教育制度について。Ther Res，**10**：2230-2233.
 - 15) 丸地信弘：地域医療に指向した総合問題解決の理論開発とその実践応用，総合ネットワーク (GM) 的接近による医学の教育と研究の一体化を素材にして。信州医学雑誌，**37**：9-15.
 - 16) 藤 正巖：ビデオ画像処理の医学応用，医学におけるビデオ画像今後の動向。病態生理，**8**：461-466.
 - 17) 阿部稔雄：卒前カリキュラムの中での胸部外科。日本胸部外科学会雑誌，**37**：959-960.
 - 18) 田中 勲：卒前教育カリキュラムにおける胸部外科の意義。日本胸部外科学会雑誌，**37**：960-963.
 - 19) 勝村達喜：卒後臨床研修における胸部外科。日本胸部外科学会雑誌，**37**：963-965.
 - 20) 秋山 洋：胸部外科医の教育はいかにあるべきか，米国との比較検討。日本胸部外科学会雑誌，**37**：967-968.
 - 21) 秋山文弥：胸部外科医の生涯教育，一臨床外科医の立場から。日本胸部外科学会雑誌，**37**：971-972.

- 22) 橋本信也・他：第7回入学選抜に関する討議会報告. 医学教育, **20**: 127-131.
- 23) 鰐淵康彦：胸部外科医教育における一般外科教育. 日本胸部外科学会雑誌, **37**: 965-966.
- 24) 大田満夫：胸部外科専門医の必要性和教育. 日本胸部外科学会雑誌, **37**: 969-971.
- 25) 高柳 功：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 指定医の資格要件について. 臨床精神医学, **18**: 830-833.
- 26) 保崎秀夫：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 大学病院における指定医研修の要件と医療保護入院. 臨床精神医学, **18**: 834-835.
- 27) 山口成良：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 大学病院における指定医研修の要件と措置入院. 臨床精神医学, **18**: 836-839.
- 28) 竹村堅次：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 社会復帰活動と指定医研修の要件. 臨床精神医学, **18**: 840-844.
- 29) 影山任佐：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 司法精神鑑定と精神保健指定医の問題. 臨床精神医学, **18**: 845-849.
- 30) 富井通雄：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 精神保健指定医養成のための実務研修体制の確立に向けて. 臨床精神医学, **18**: 850-854.
- 31) 関山守洋：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 私立病院における指定医研修とその要件. 臨床精神医学, **18**: 855-858.
- 32) 佐藤孝三：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 指定医研修会（自治体病院協議会主催）受講印象記. 臨床精神医学, **18**: 859-862.
- 33) 津久江一郎：精神保健法のすべて, 指定医の研修要件, 指定医研修会（日本精神病院協会主催）のまとめ. 臨床精神医学, **18**: 863-866.
- 34) 橋本大彦・他：精神保健法5年後の見直しに向けて, 精神保健指定医制度と精神科卒後研修, 全国若手精神科医アンケート調査より. 臨床精神医学, **18**: 946-951.
- 35) 前田如矢：教養課程の健康科学. 金芳堂, 240.
- 36) 新野直明・他：生活時間調査による研修医の病院内活動の実態. 日本公衆衛生雑誌, **36**: 484-488.
- 37) やな島謙次：小児科医に必要な眼科の知識, 視覚障害児の指導. 小児内科, **21**: 579-582.
- 38) 小泉俊三：卒後臨床における「評価」の容観化をめぐる, 価値基準の多様性と医療におけるテクノロジーアセスメント. 医学教育, **20**: 159-167.
- 39) 曾我部博文：シナゴジー理論に基づくチーム学習法の薬理学教育への導入. 医学教育, **20**: 168-173.
- 40) 庄司進一：問題解決型学習・態度教育を目指したシミュレーションを加えたロールプレイ型臨床授業の試み. 医学教育, **20**: 174-178.
- 41) 華表宏有・他：学外実習における教育効果改善のための授業評価の活用. 医学教育, **20**: 183-188.
- 42) 庄司進一：全人的アプローチ教育を目指した新入院患者回診の試み. 医学教育, **20**: 189-193.
- 43) 中村千賀子：保健医療行動科学の体験学習マニュアルⅢ, マイクロラボラトリー訓練. 医学教育, **20**: 194-200.
- 44) 厚生省健康政策局医事課：臨床研修病院ガイドブック'90. 日本医事新報社, 746.
- 45) 田中 勲：医学生ガイダンス, 学びのテクニクと心の健康法. MEDSI, 308.
- 46) 山田洋一・他：CD-ROMを利用した医学生教育システム＜MEDICATS＞, SANYO Tech Rev, **21**(3): 45-53.
- 47) 三谷一裕：多選択肢問題に勝る客観試験方式「type mZn」について. 医学教育, **20**: 152-158.
- 48) 坂上晃一・他：計画的囊外摘出術の手術成績, 旭川医科大学眼科での初心者の教育方法とその成績. 日本眼科紀要, **40**: 611-614.
- 49) 福井 興：医師の生涯教育効率化・体系化の試案. 大阪医師会報, **241**: 48-49.
- 50) 徳丸 実：「家庭医機能の生涯教育」について. 愛媛医師会報, **627**: 3-5.
- 51) 高久祐治：欧米における医学物理学の現状(3), Medical Physics の教育制度について. 日本医学放射線学会物理部会誌, **9**(2): 100-108.

*

*

*